

# ワタシが NUTEC を選ぶ理由

プロが語るオイル & ケミカル事情

## 第5回 | SUZUKI SPORTS大田

Text & Photo/Kazuma Takagi 高城一磨  
取材協力/スズキスポーツ大田 Phone 03-3738-5171



## 日常の足にプラスαの 楽しみを与えるレシピ

バイクライフを支えているのは、ビッグバイクばかりではない。  
通勤の足として、スクーターをセカンドバイクに使う人も多い。  
今回はそこにちょっとした遊び心を加え、日常がグッと面白くなるというオハナシ。



これがパワーアッププログラムに使うケミカル3種。右から、キャブレター&インジェクションクリーナー、カーボンリムーバー、コンプレーストだ。

多数のクルマが行き交い、日中は渋滞が慢性化する、国道15号と環状8号の交差点。そこから僅かに横浜側へ移ったところにあるスズキスポーツ大田の店先を、スクーターに乗ったお客が頻繁に覗いていく。目の前を通る国道15号線は、横浜と東京をつなぐ大動脈のひとつ。停滞したクルマの間をすり抜け、大小のスクーターが数多く通り抜けていく。

「通勤だし税金も安いから原付を選ぶ人は多いですが、やはり小排気量だと交通が流れたときパワーに不満を感じるようです。250や400の中古スクーターを並べると、皆さん結構注目しますね」

張りのある声で丁寧な応対をしてくれるのは、同ショップの店長である醍醐義征さん。一見スズキ系ディーラーに見えるが、現在は他メーカーも取り扱っており、ビッグバイクでのサーキット走行会参加からスクーターのパンク修理まで、なんでもこなす街のバイク屋さんだ。

「社長がスズキのサービス工場の出なものでスズキ色が強いですが、販売・修理ともになんでも扱いますよ。でも場所柄が、最近はスクーターを求める人が多い。でも、ウチにくる人は別にメインのバイクを持っていることが多いので、セカンドバイクとしてですけど。だから遊び心も旺盛で、通勤の足に少しずつ手を加えて楽しむ人が多いんです」

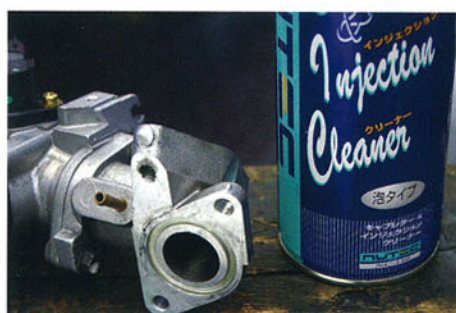
チューニングパーツを組むようなハード系は少ないが、ケミカルチューニング

「パワーアッププログラムは、ビッグバイクのお客さんにも好評でした。飛ばす人が多いのですが、施工直後はしっかりと違いを感じたようです。ただすぐにパワーに慣れてしまうから、好きな人は車検の度に行うこともあります。また最近ではエンジンオイルもニューテックを使うことが多いですが、面白かったのは自分のV125のエンジンを開けたとき。シリンダーの内壁に、新車当時のクロスハッチが結構残っていたんです。もつと距離の少ないエンジンでも、あれほどは残っていないなかった。それからですね、

など実験系が大好きなのだとか。その人気メニューのひとつに、ニューテックのパワーアッププログラムがあるという。

「ケミカルチューニングって、体感できても僅かじゃないですか。その微妙な変化を誰でもわかるのが、小排気量だと思っんです。スロットルを全開にしエンジンをトップエンドまで吹けさせると、小排気量ならできるじゃないですか。自分でもアドレスV125に乗っていますが、そこで違いを体感できたのがコンプレーストでした。それまで、ジワジワとしか伸びなかった高回転に、結構な勢いが追加されたんです」

マユツバと想像していたケミカルの力を感じた醍醐さんは、その後ニューテックとの付き合いを深めていく。



アドレスV125は、冷間時にアイドルリングが不安定になる傾向がある。これはアイドルポートにスラッジが溜まりやすいが原因。そんなとき、NC-120キャブレター&インジェクションクリーナーがかなり役立つとか。